

研究開発課題概要

研究開発課題名：非圧縮 HD 映像の IP 伝送国際標準方式の開発と IPv6 実環境評価の研究開発

— 民間基盤技術研究促進制度平成21年度新規提案 —

受託者	株式会社メディアグローバルリンクス
研究開発期間	平成21年10月～平成23年9月（2年0ヶ月）
研究代表者名	中村 和則
研究開発の概要	<p>NGN (Next Generation Network) に代表される通信の IP 化と放送のデジタル化を見据え、世界各国で映像伝送の IP 化が進んでいる。特に放送局間の映像伝送、あるいはスポーツ中継の様な B to B のネットワーク（コントリビューションネットワーク）においては、リアルタイムで非圧縮映像（1.485Gbps/1HD 映像）を IP 伝送するニーズが高まりつつある。</p> <p>これらのニーズに対応して、IP ネットワーク上での非圧縮映像転送に関する国際標準化の検討が VSF (Video Services Forum) の HBRAV (High Bit Rate Audio/Video Over IP) と呼ぶアクティビティグループで進んでおり、当社は HBRAV に各種の提案を行い、採用されてきた。</p> <p>本研究開発では、HBRAV の仕様を先取りし、世界で最初に標準仕様に準拠した製品を先行開発する。また、国際標準技術に加えて、ネットワーク障害時に映像の瞬断を起こさない無瞬断切替と呼ぶ独自技術、および、IPv6 マルチポイント通信機能を実現する事により、極めて高信頼で実用性の高い映像配信技術を確立する。</p> <p>本研究開発は、標準化を先取りし、IP ネットワークを通して大容量のコンテンツストリームを配信する基本技術を確立するものであり、コントリビューションネットワーク以外にも、医療関係、監視カメラ等の多くの分野に適用できる。また、デジタルシネマ、ODS (Online Digital Source) の様な新しいコンテンツビジネスの拡大を促進すると考えられる。</p> <p><用語説明> 非圧縮 HD：圧縮しない高解像度（高精細・高画質）の映像。 IPv6：インターネットプロトコルの次世代版（Version6）となる通信プロトコル。128 ビットの広大な IP アドレス空間を持つほか、ネットワーク放送、リアルタイム信号のネットワーク伝送等に適した方式となっている。</p>

